

本単元で身に付けたい力

説明の仕方や文章の構成などの表現方法に着目しながら必要な情報を読む力

言語活動とその特徴

本単元では、カードと本の文章の二つの文章を読み比べ、読み取った内容をもとに説明の仕方の違いを考える活動を設定している。また、読み取ったことを確かなものにするために、教科書にある文章からカードを作成する活動を設定している。目的に応じて内容や説明の仕方を変えたり、表現に注目させることで児童自身の言語表現を意識させるきっかけになる。

教材の特質

本教材は、カードと本の文章との二つの文章で構成されている。「箇条書きカード」と「本の文章」(はじめ・なか・おわり)という、目的と説明の違いがはっきりしている二つの文章が並べられており、2つの文章の同じところや違うところを見つける学習を通して、内容を読み取る力を身につけさせるとともに、場面や用途により説明の仕方が違ってくるといふことに気づかせることができる。

児童の実態

2年生の5月に学習した「たんぼぼ」では順序に気を付けて読む学習をしている。順序に気を付けて読んでいるかを確認する活動として、たんぼぼのヒミツカードを作成した。しかし、説明されていることを順序通りに整理することや、読み取る力に弱さが見られ、中身を考えて読んでいない児童がいた。文章を読んで、内容を読み取る力には差がある。

指導観

本単元では、目的に応じて、説明の違いがはっきり分かる文章から、同じところや違うところを見つけさせる活動を通して、読み取る力がつくよう指導したい。さらに、「まほうのかばんランドセル」で、大事な文を捉えて、カードという形式に合わせて文を短くする活動を行う。そして、生活科の町たんけんのインタビューの文章から必要な情報を読み取り、カードに書く活動へとつなげて指導したい。

単元の目標

二つの文章の説明の違いに気付き、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができる。

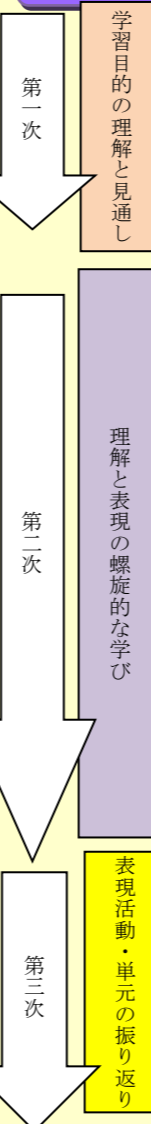
単元の主な指導事項

		主な指導事項(記号)
知識及び技能		(2) 情報と情報との関係 ア
思考力・判断力・表現力等	C: 読むこと	精査・解釈 ウ

単元の系統性

第1学年「歯がぬけたらどうするの」似ているところや違うところを考えながら読むこと
 第3学年「ほけんだよりを読みくらべよう」事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取ること。
 第6学年「新聞の投書を読み比べよう」投書を読み比べ、文章に表れている書き手の工夫を読み取ること。
 中学第1学年 C書くことウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈すること。

学習過程



主な学習活動

- ① ゴールを示し学習課題をつかみ、学習の計画を立てる。
- ② 二つの文章を比べる。
- ③ 文章を読み、段落分けをする。
- ④ カードに書いてある文と文章との共通点を見つける。
- ⑤ カードには書かれていなかった部分に着目させて、なぜ書かれていないのか考える。
- ⑥ 二つの文章の違いとそれぞれのよさを考える。
- ⑦ ③④で学習したことを使って「ランドセル」の文章を読み、カードに書く部分を見つける。
- ⑧ ⑦で学習したことをもとにカードに文を短く書く。
- ⑨ 町たんけんに行ったお店のおすすめカードを書く。
- ⑩ 学習を振り返る。

言語活動

二つの文章を読み比べ、それぞれのよさを考え、必要な情報を選んで、おすすめカードを作成する。

指導上の留意点

- これまでの学習を想起させ、付けたい力を意識させた学習計画を立てる。
- 町たんけんに行ったお店におすすめカードを置くことを伝え、学習への意欲を高める。
- 教科書や日常生活から「ふろしき」について知っていることや感じたことを発表させる。
- 二つの文章を読み比べ、1つの文の長さや文の数などに着目させて違うところを明確にする。
- 二つの文章を読み比べ、カードと文章の同じところが分かりやすいように、着目する言葉を囲んだり必要な部分に線を引かせたりする。
- カードと文章の比較がしやすいように、2つの文章の拡大を黒板に掲示する。
- 「まほうのかばんランドセル」のカードに必要なことを選択して書けるよう指導する。
- 生活科で行った町たんけんに関連させ、教科横断的な学習になるようにする。
- 学習を振り返り、実生活でも説明の仕方や表現に目を向け、必要に応じて選択できるようにする。

本単元終了時の目指す児童の姿

表現方法の違う文章を読み比べ、目的に応じて必要な情報(語や文)を選びながら読むことができる姿

研究主題: 目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方
 -学習過程の工夫と情報の扱い方に関する指導を通して-

研究主題に関わる授業づくりのポイント

カードと本の文章との二つの文章を比べることで、目的に合った説明の仕方があることに気づかせたり、文章のどの情報がカードにまとめられているか対応させたりする。
 また、教科書の文章をカードにまとめる活動を通して、文章の必要な部分を短くまとめる方法も身につけさせる。そして、自分でカードを作成する際には、必要な情報はどれかを考えながら整理して自分の目的に合ったカードを工夫して作ることができるようにしたい。

指導と評価の計画 (全10時間)

学習過程		学習課題《せつめいのしかたをくらべて、それぞれのよさを見つけよう。》					
		○指導目標 ・学習内容、学習活動	評価規準 (評価方法)				
第一次	1	理解 学習の目的の	① 学習の見通しを立てる。 ・去年の町たんけんのおすすめカードをみせる。 ・教科書P75(ふろしき)を見て、ふろしきについて知っていることを出し合う。	【関】学習課題をつかみ、2つの文章を比べて読もうとしている。(発言・行動観察) 【読】語のまとまりに気をつけて、2つの文章を音読している。(音読・行動観察)			
			第二次	2 3 4	内容の理解 構造と目的の	②二つの文章を読んで、文の数や長さの違いに気づくことができる。	【読】二つの文章の説明の仕方の違いに気づいている。(発言・ノート)
						③二つの文章の違いがある理由と、それぞれのよさを考える。	【読】文章が使われている場面や用途によって、文章構成や表現の違うところに気づいている。(発言・ノート)
						④文章を段落分けしたり、はじめ・中・終わりに分け、文章の内容の大体をつかむ。	【読】教科書を読み、内容を把握しながら、はじめ・中・終わりに分けられている。(教科書・発言・ノート)
第二次	5 6 7 8	精査・解釈	⑤カードと文章を読み比べて、二つの文章の同じことが書かれている部分を見つける。	【読】同じ言葉や違う言葉に着目し、カードと文章を読み比べて、カードに必要なところを見つけている。(ノート・発言)			
			⑥カードと異なる部分に書かれている内容を考える。	【読】2つの文章の違いを見つけ、カードに必要な内容を読み取っている(発言・ノート)			
			⑦教科書P81の「まほうのかばんランドセル」を読み、カードに書く部分に線を引く。	【読】文章の中からカードに必要な部分を読み取っている。(教科書・発言・ノート)			
			⑧線を引いたところをもとに、カードを作成する。	【読】ランドセルの特徴が伝わるように、目的に合わせた形式でカードに書いている。(カード・発言・ノート)			
第三次	9 本時	形成・表現 考えの	⑨学習してきたことを生かし、町たんけんに行ったお店のおすすめカードを作成する。	【読】文章の中から必要な部分を読み取り、目的に合わせた形式でカードに書いている。(カード・発言・ノート)			
			10	振り返り 共有・	⑩カードを友だち同士で見合い、意見を交流させ、振り返りを行う。	【言】主語と述語とを照応させて文章を読み取り、カードを書いている。(カード) 【関】同じ対象を伝える文章にも、目的に応じて違う形式があることを理解し、文章への関心を高めている。(ノート)	

主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた授業改善の手立て

- ・生活科で行う「町たんけん」と関連させ、お店にある「おすすめカード」に関心を持たせ、学習意欲を高めることで主体的な学びへ向かわせる。
- ・家庭学習でやってきた予習をもとに対話させたり、個人思考のあと対話をさせたりすることで、自分の考えと友だちの考えを比べ、よりよいものへと考えられるようにする。
- ・どの部分をカードに書いたらいいかが分かりにくい場合には、線を引いた部分について、ペアで話合う時間をとり、考えやすいようにする。
- ・学習する中で書いたノートやカードを手がかりとして考えさせる。
- ・教科書の文章をカードに書く活動を通して身に付けた力を使って、実際に行った「町たんけん」でのお店のおすすめカードを作成させる。その際も文章をもとに、カードを作成することで、さらに付けたい力を確かなものにする。また、ペアでカードに書く文を練り合わせることで深い学びへとつなげたい。

第二次 二つの文章を読み比べ、特徴をつかみ、文章の必要な情報だけをカードにまとめる。

児童の思考の流れ

2つの文章は、おなじふろしきのことについて書いているけど、文の長さがちがうね。

カードは短くて、読みやすいね。もう一方は長いけど、詳しく書いてくれているからわかりやすいね。

二つの文は、どうして書き方が違うのかな。

カードはお客さんが見てすぐわかるようにじゃない？説明文は詳しくわかるよね。

本にのっている文章は説明文だね。「はじめ」・「中」・「終わり」で分けられそうだね。

似ているところもあるよ。文章のこの部分がカードに書かれているね。

カードに書かれていないところは、どんなことが書かれているのかな。

理由のところより、～できますところのほうがまとめて書かれているね。

教科書の「まほうのかばんランドセル」をカードにするために、「ふろしき」で学習したように、教科書の大事な部分に線を引いておくと書きやすいね。

習ったことを使えば、自分たちも分かりやすいカードができそうだね。

まほうのかばんランドセルでカードを作ってみよう。大事な文のつけ方は、～できますを探してみよう。

理由はいらなかったよね。主語も大事だよ。

カードは短いほうが読みやすいね。どうしたらさらに短くなるかな。

はこぶことができますとかを、はこべます。にしたらよかったよね。

本時の指導 指導日 令和元年 7月 11日(木) 2校時

(1) 本時の目標

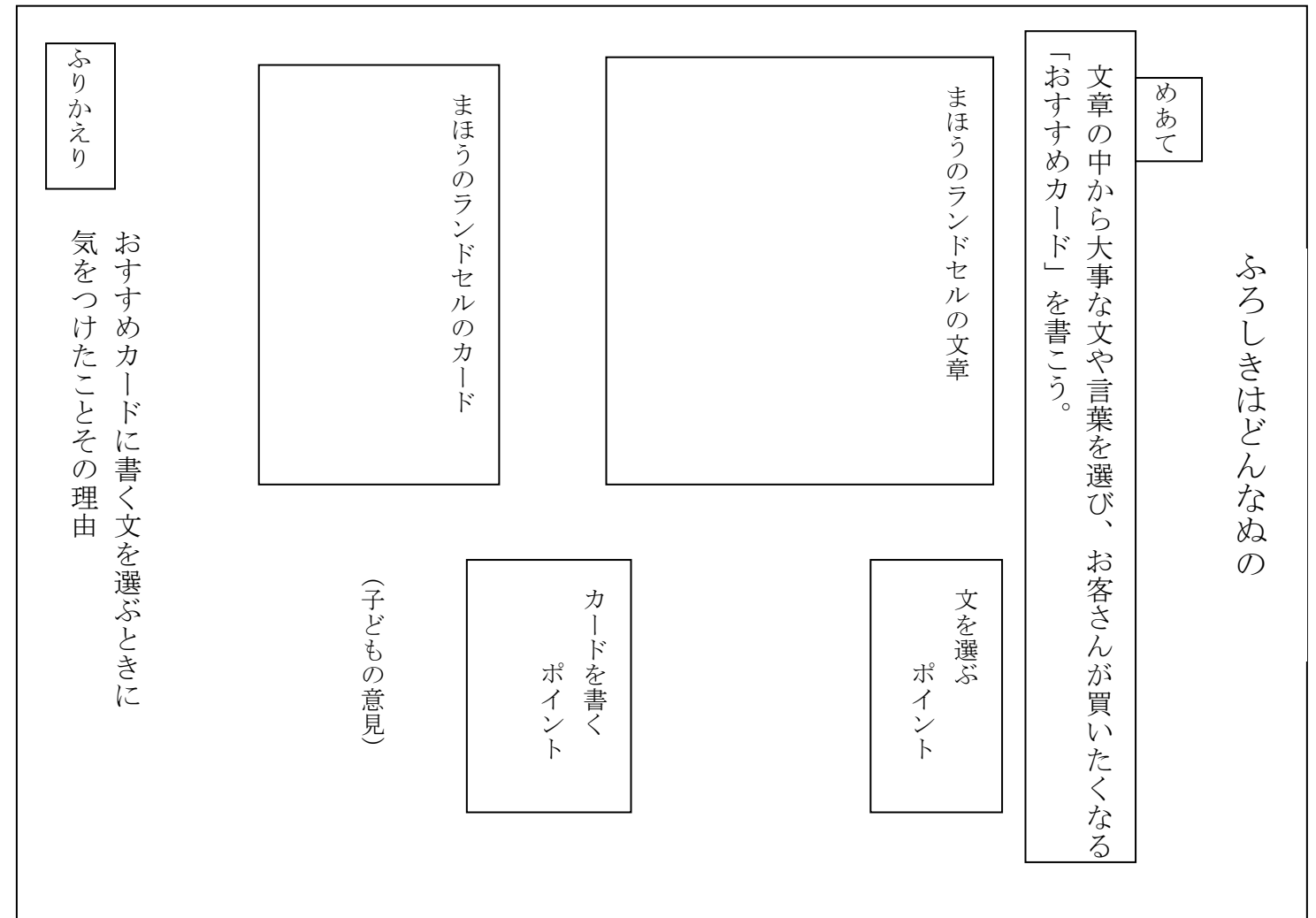
「おすすめ商品」の文章をもとにカードに必要な情報を読み取り、カードの形式に合わせて書くことができる。

(2) 展開

学習過程	学習活動	主な発問(※) 予想される児童の反応(○)	指導上の留意点(△) 評価(☆)
見通す	1. 今までの学習を想起する。	○「おすすめカード」上手に書きたいな。	△町探検で行ったお店に「おすすめカード」を置いてもらうことを確認し、意欲を高める。
	2. めあてを確認する。	めあて 文章の中から大事な文や言葉を選び、お客さんが買いたくなる「おすすめカード」を書こう。	
思考・判断・表現する	3. 文章の中からカードに必要な情報を見つける。 【個人】 【ペア・全体】	※どんなことに気をつけて必要な文を選びましたか。 ○「～は」って主語があるからここかな。 ○「～できます。」だからここが商品の良さを書いている文だと思うよ。 ○ここは「～から」がついているから理由だね。書かなくていいね。	△今までの学習を掲示し、着目する言葉などを確認できるようにしておく。 △大事な言葉を全体で確認する。
	4. 必要な情報をカードに書く。 【個人】 【ペア】 【全体】	※カードを書くには、どんな工夫が必要ですか。 ○読みやすくするためにカードは短い文にする。 ○主語や「また」「さらに」は書かない。 ○「～ことができます。」を他の言葉に変えればもっと短くなる。	△文章と出来上がったカードをみんなで比べられるように書画カメラを準備しておく。 ☆文章の中から必要な情報を見つけ、目的に合わせた形式でカードを書いている。(カード・ノート)

振り返る	5. 振り返り	○カードを書くときは、商品の良さを書いている文を選びました。「～できます。」に着目すると見つかりました。	△おすすめカードに書く文を選ぶときに気をつけたこととその理由を書くようにさせる。
	家庭学習 どんな絵をつけたらさらに良いカードになるか考えてくる。		

(3) 板書計画



(4) 準備物

- 既習「まほうのランドセル」の文章とカードの拡大(提示用)
- おすすめカードの文章(児童用)
- 書画カメラ